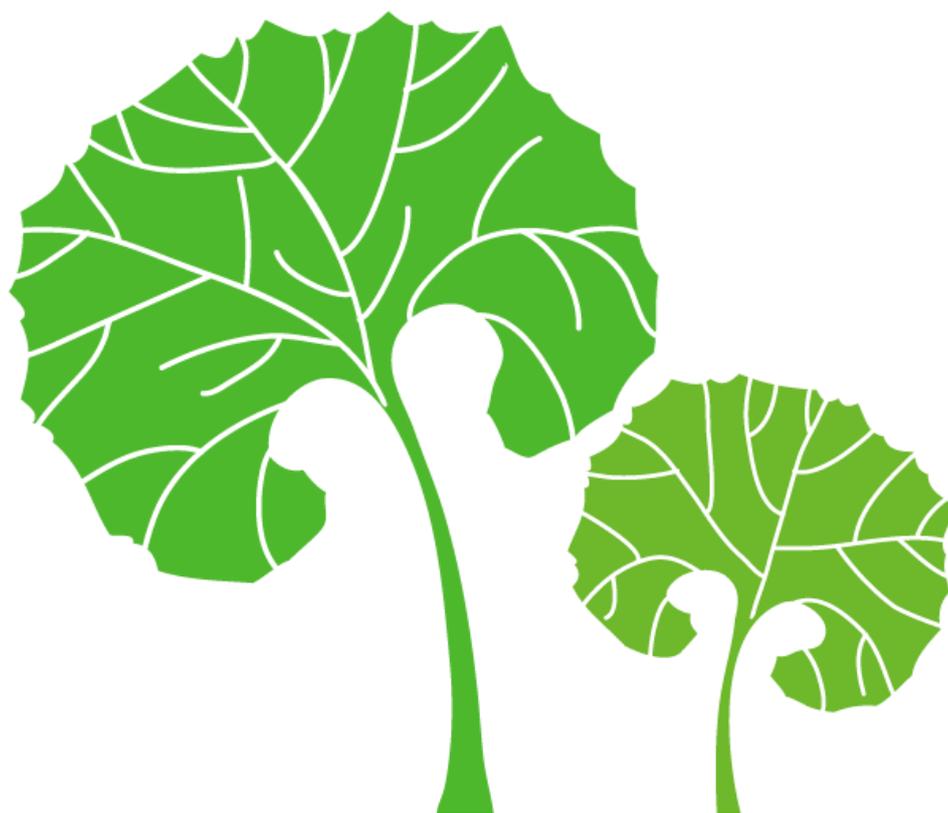


一般社団法人 全国知的障害者施設家族会連合会

第13回 全国大会 in 秋田

アンケート集



期 日 平成29年10月3日(火)～4日(水)

会 場 秋田キャッスルホテル(秋田市中通一丁目 3-5)

1. 大会全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- 良かった。交流会の食事は物足りなさを感じた。
- 机があると資料に記入しやすかったと思います。交流会になまはげが出演したのは楽しかった。障害保健福祉施策の動向の話はわかりやすかった。
- 全国大会は初めての参加でしたが、行政説明等を始め、とても勉強になりました。又「なまはげ」の太鼓は最高でした！さすが秋田！という感じでした。このような大会をご準備くださった皆様、本当にご苦労様でした。感謝申し上げます。南先生のお話も大変良かったです。
- 知らないことが多く、大変勉強になりました。準備等大変だったと思いますありがとうございました。
- 充実した内容の講演が多く、大変良かった。出席者があまりに多く、他県の人と話す機会がもう少しあればもっと良かったろう。
- 職員の皆様、本当にご苦労様でした。細かい所までの心遣い大変だったと思います。このような大きな大会に初めて出席し、本当に勉強になりました。素晴らしい大会に感謝しています。
- 南副理事長の講演で、テキストは不用、閉じてくれとのこと、印刷代又、理解するための資料が必要。テキストがないと私たちには理解できない。遠方から来ているため、時間を効率的に使って欲しい。例、2日目の12時から12時15分の休憩もいらない。
- 家族の思いを知ることもでき、とても良い大会でした。いろいろなことを学ばせていただきました。
- 細部のわたり、配慮をしていただき感謝しております。おかげさまで講演会、討論会も集中してお話しを伺うことができました。素晴らしい大会だったと思っております。
- 家族会員が少ない中で全国大会を開催していただき、ありがとうございました。事務局に感謝申し上げます。
- 資料が大変良く整理されてきました。
- 非常に内容のある大会であった。交流会のメニューも秋田の酒を含めて美味しかった。
- 保護者の立場、施設職員の立場を考えさせられ、いろいろ考えることができた気がする。よい理解ができた。
- おもてなし感が良く感じ取れました。ありがとうございました。
- 良かったと思うが、マンネリ感はいなめない。
- 家族の思い、職員さんの思いが全て障害者の幸せに繋がることを大切にされた大会で、とても温かな気持ちになりました。実行委員の方々、おつかれさまでした。
- 毎年同じパターンで開催されています。工夫されていると思いますが、行政説明は物足りなさを感じます。具体的ところが知りたい。
- 施設の中に勤務していながら、改めて障害福祉の現状課題等を知り、勉強させていただきました。なかなか変わらない行政の中で、私たちは毎日の支援に努力していかなければいけないと感じました。

- 時間通りに進行して良かった。
- ご準備ご苦勞様でした。良かったです。会場の椅子席余裕がありました。最前列のみ机配置は意味がわからなかった。中央は一列の配置で使用されていないところがあった。秋田県自閉症協会の活動を検討して欲しかった。厚労省専門官の話は大変参考に勉強になった。
- 大変環境の良い中での大会でありました。厚労省職員の講演は分かりやすかった。秋田県関係者にお疲れ様とお礼を申し上げます。
- 厚労省の資料はボリュームがあった。体系的によくまとめられており参考になった。
- はじめて参加しました。講演も分かりやすく良かったです。いろいろ勉強しようと思いました。
- 良い大会に参加できて良かったです。
- 素晴らしい会場で、素晴らしい司会で進行し、よく理解できたし勉強になりました。ありがとうございました。
- 南先生による基礎研修の内容が大変良かった。更なる向上の必要を教えられた。
- 行政説明と家族会連合会役員との討論等も聞きたかった。二日目の南守氏の講演会レジメ欲しいね。
- 会場に椅子しかなく、メモが取りにくいと感じた。
- 会場設定がとても良かったと思います。演台と出席者の間隔が近くて、お顔も良く見えました。椅子の間隔もゆったりしていて良かったです。今日（4日）の講演も大変良かったです。家族としてとても嬉しかったです。（我が園の南園長のお話でした）
- 県大会よりもご意見、感想が深いところにあったのが、解りやすく説明して下さってありがたいです。
- 司会説明が明解で進行が大変良かったと思いました。
- 家族の方を目当てということもあり、解りやすかった。
- 各施設は努力を常にしているものも制度の制約があり、支援の難しさを理解するが、利用者の側からは、何事も無ければよいが、あった場合の不安を感じております。どんな状況にあっても安心できる制度、施設になって欲しいと思いました。
- 施設職員です。大変良かったと感じています。
- 今回、秋田で全国大会に参加させてもらい、全国の親の意見を聞いたので、また他県での全国大会へ参加したいと思った。
- 施設の職員ですが、保護者の方々が今思われていることがわかって、そのことについて解決する講演がなされよかったですと思います。
- 分かりやすく、またおもしろおかしく話しを、家族の方が施設職員の方がして頂き、とても勉強になりました。
- 会場のふんいきもたいへん良く、大会を準備していただいた秋田県連の皆様方にこころから感謝しています。
- 参加者の年齢的なものがあると思うが、落ち着いた良いふんいきだった。施設ごとの販売については、あらかじめ割引券等を配布しておけば、販促できるのではないかな。
- 交流会のアトラクション、とても良かった。

- 私は初めての参加で無知なこともあり、難しいお話でしたが、これから先を考えていく中に大切な話でありました。どのように私たちや障害者に関わる問題点などを少しわかる様になりました。
- 東北での開催ということで、初めて参加させていただきました。全国からたくさん参加されているのにびっくりしました。ただ、顔ぶれを見ると、ご高齢の方が多ところからスクリーンにしても、もう少し文字を拡大したほうが見やすかったのでは・・・と感じました。行政報告は現場に携わっていた方だったからこそだと思いますが、厳しいこと、訴えていること、今やっていることなど、きちんとまとめて報告していただき、すごく良かったです。
- 初めて参加したが（施設職員として）家族の思いを知ることができたが、事務局及びスタッフが施設職員というのは気にかかった。
- 受付の担当でしたが、集合時間が早い割に打ち合わせの内容が薄く残念でした。事務局の方も時間まで来られていないのも残念でした。事務局の方々、準備等ありがとうございました。お疲れ様でした。
- 本大会の開催に当たり、ご尽力携わった秋田県知的障害者施設家族会連合会所属の皆様にご心から敬意を表します。会場等のセッティングは大変良かったと思います。
- 障害福祉サービス、今後保険対応となっていく流れがあること、厳しさを感じた。
- 交流会について、テーブルは同県人ではなく、各県バラバラに配置して欲しかった。これでは交流会にならない。
- 行政説明は現場体験があるため、内容がわかりやすかった。講演は具体性があり、大変理解できた。
- 行政説明では、ユーモアを交えわかりやすく説明してくれ、とても良かった。
- 初めて参加しましたが、知的障害者に対する考えが変わりました。せっかく全国から集まって意見交換している訳ですから、反映されるようにしてほしいと思います。
- GHを利用している家族です。今回初めて参加させていただきました。色々な先生方からのお話のなかで、親ももっと勉強していかなきゃならないことが沢山あると痛感しました。ありがとうございます。
- 大会係員のみなさん、ありがとうございます。2日間有意義な研修となりました。
- 秋田県の関係者が一生懸命盛り上げようとして、準備されていると思います。ありがとうございました。
- 大会に初めて参加しました。会場であるホテルの場所がわかりづらく、道を間違えることがありました。全国大会会場周辺の土産物、居酒屋等の情報をチェックイン等で知らせる等してもらいたい。
- 駅からの会場案内が不親切。交流会の食事内容がおそまつ。会の運営に関しては良かった。
- 大会役員、職員、ご家族の方々、お疲れ様でした。北～南～たくさんの方々が集まって、とても良い大会でした。
- ご苦労様でした。懇親会の食事、飲まない人にとっては、ちょっと物足りないようでした。

- 厚生労働省の説明についての質疑応答の時間があればよかった。
- 全国大会が今後も実現、実施されることに感謝いたします。
- 厚生労働省の片桐専門官の話は、実態に即した話しが中心となっており、わかりやすく参考になった。(昨年よりも良かった)
- 厚生労働省片桐様の行政説明は大変わかり易く勉強になりました。会場の配列も座りやすく、演台も近く、聞こえ易く大変良かった。
- 全施連秋田大会にはじめて参加しましたが、良い大会でありました。
- 全体から見まして、スタッフの方が解りにくく、内部の対応がしにくかった。各施設の製品はとても良かった。職員の熱心さが見られた。秋田県役員の皆様、本当にご苦労様でした。大変でしたでしょう。
- 全体に案内役が少ないと思いました。到着時の案内人(オレンジパーカー着用者)会場内、どなたが秋田のスタッフか不明でした。困ったこと等が聞けなかった。
- 夕食楽しみにしていたのに少ない、お酒はいただかないので・・・案内が、外、中ともいないのかわからなかった。行政説明の片桐さんのお話しは、もっと伺いたいとおもいました。
- 天候も良く、また会場も交通的にも駅から近く、会場のホテルも各部屋、ホールも広々と各スタッフの対応も良かった。
- 厚生労働省、福祉部専門官の先生も民間経験者であられたことは、何より力強いことでした。おちからをおかりしたいです。
- 各施設への報告用に大会開催テーマ冊子を余分に頂けた幸いです。

2. 全員参加型討論会について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- 討論テーマを事前に広く意見を集めておいて、全体討論が深まるようにしてほしい。
- 保護者の生の声を聞くことが出来、良かった。大変勉強になりました。
- 会場を含めた討論会は活発だったと思います。皆様お疲れ様でした。ありがとう。
- テーマをもう少し絞っていただいたほうが良いかなと思いました。
- 各施設では、前向きに取り組んでおられる事がよくわかりました。
- 意見も活発でよかった。時間がもう少し長ければと思ったくらい。
- もう少し深く、時間を取って欲しい。
- 学んだことを利用者さんと生活に役立てていきたいと思います。
- 講師の皆様はもちろんのこと、フロアにおられる方も勉強されているのだと思いました。
また、勉強をしていかなくは、自分たちの生活も含めて、ハンディのある人たちを守っていけないのだと強く感じました。
- 各々の発表者の意見は参考になったのですが、テーマの絞込みがあったほうが良かったのでは・・・？大会決議は、前年の大会決議との継続性(関連性)を重視した方がいいのでは・・・？
- 重い課題でしたが、少しずつ明るくなった気がします。
- 利用者の家族、事業者からの話題提供、報告と分けてやったのは良かった。
- 現場の率直な生の声が聞かれ、又保護者としての考え、疑問がよくわかった。
- 参考になることがたくさんあり、筆記しました。
- 討論会で発表したことを実行して欲しい。
- 活発な意見が多くあり、良かったです。
- 多くの意見が出されて良かったと思います。
- 利用者さんの保護者の方の本音の気持ちを聞かせていただき、改めてその大変さと今後の不安等・・・考えさせられることがありました。私たちも施設の中で、保護者さんの思いを感じながら日々支援に努めていきたいと思います。
- 討論会資料を事前に配布していただければ幸いです。
- 話題提供者の話も分かりやすかった。
- 南先生の話は、いつも教えていただくことが多いです。2日間とも時間配分がきびしかったと思います。
- 方向性について、何か矛盾を感じる場面もあった。
- 討論会になっていなかった。一工夫必要である。時間も足りない。
- 意思決定支援について、家族の存在、家族の意思はどうなっているのか気になった。「死」に向かうときは「住」の変更等家族の存在は無しにはならないはずだが・・・もっと具体的な話合いが欲しかった。
- 第1日目、第2日目とも内容が良く、自分も考えることが多くありました。
- 活発な意見交換があり、高齢化で将来が心配はみんな一緒だなあと感じました。
- 「終の住処」として、看取ることができる施設を要望できるかが今後の課題と思った。
- フロアからの質問時間がもう少しあってもよかったかな？

- 保護者の方々の貴重な意見がきける良い機会となった。
- 他の人の意見等をお聞きして参考になりました。
- 具体的に障害をあげての交換（意見）があり、自分の子も同じようなところがあって、皆さん大変な思いをされているのだと思いました。
- 施設解体について大変心配していました。今日行政説明や後援者のお話の中で「否定しているわけではない」とのことで安心しました。
- もう少し時間を取っていただき、家族の意見を傾聴したかった。
- 施設側と家族側の意見を聞き、参加者からは不安部分の質問等数人でしたが、要点をついた付帯事をし、知らなかった点多し、知ることができました。
- 壇の上下では無い、交流があると良いですね。
- 障害を持つ親の心構え、これからの人生等が聞けたので良かったです。後は施設職員へ対する仕事のことへの話がつらかったです。
- 家族の方が施設に望んでいること、施設の今の現状、様々なことを聞くことができ、今、施設職員として何ができるか、何をしなければいけないのか、考えさせられました。
- それぞれ発表いただいた方々の内容もとてもすばらしかったです。参考になりました。講演、講師の先生方の話も大変わかりやすく理解ができました。
- 全国の家族会の方たちの想いが伝わってきて参考になります。ただ、討論会で発した意見が、どのような成果となっているのか解らない。
- 家族の方からの率直な意見、声を聞くことができよいい刺激となった。
- いろいろな話が聞け、どれも私自身もぶつかる問題でありました。勉強になりました。
- 良いと思います。
- 今大会は「新しい生活の場を語ろう」というテーマだと思うのですが、1日目の討論会は本筋からはなれていったように思いました。正直「えっ・・・そこから？」「えっ・・・なんでこーなるの？」と思いつながら聞いていました。2日目は今、入所施設をやっている事業所さんのお話は、私が知らなかった問題点があることを知りました。我々の家族会は、これから終の住処をどうしたらいいのかが課題でしたが、その目標に向けて、家族は家族なりに理解しなければいけないことがたくさんあると感じました。
- 討論会ではなかったと思う。
- 施設又は自分の経験の発表に関して、とても参考になるのが多かったかなと思いました。
- 初めての参加でしたが、家族会の方々の色々なお声を直接伺うことが出来、大変有意義な時間でした。
- 家族会側と施設運営側との貴重な経験を拝聴し、参考になりました。古賀先生、南先生の知識の豊富さに驚きました。今後も導いてください。
- 高齢化を迎え、支援体制の充実を図ることが必要とされるが、現実には十分な確保が難しいと感じた。
- 個別具体的な内容で、身近なものと感じられた。
- 家族の方は、かなり勉強している感じがします。
- 誰でも自由に疑問質問が出来る会であることが良かったです。

- 沢山の議題に対して討論する時間に制約がありますから、せっかく各都道府県から集まっているので、統一を図ったりする意味で討論議題を絞って、そのことについてとことん話すようにしたらどうかなと感じました。
- とても良かったです。家族からの話題、施設からの話題提供、お互いのことが少しは理解し合えたのではないかな・・・施設・・・親も・・・
- 会員のみなさんの日頃感じられている気持ちが良くわかりました。次回以後も今回のような討論会をお願いします。
- 発表者1人ひとりの意見はわかりましたが、それを全施連としてどう取り組んでいくかまで、議論がまとまらなかった感じがあるのでフォローをお願いします。
- 大変勉強になりましたが、専門用語、言葉が早くて聞き取ることが出来ず、重要なことを見落としていると思っています。
- 提案のみでなく、課題の解決に向けてのなんらかのアドバイスや解決の方向を示唆できるものが示されれば良かった。
- 行政の説明で国の改革の現状が少し内容理解できました。時流にあったテーマだったと思います。
- 全員参加型討論会は2日間に至ってあったが、時間の関係、____であり、討論としては浅い感じがした。あのような形ではあの程度として止むを得ないか？
- 今後通所施設の家族会も含め、知的障害者の親亡き後の悩み等、共通の悩みが語られる大会になったと思う。
- 討論会に自分も意見を伝えたいと思いました。もしチャンスがあれば必ずいつか大会があるときは、ご意見を言いたいです。
- 今までより少しだらけていたようだ。片桐さんの講演はとても解りやすく素晴らしかった。
- 1日目、個人的な意見になり、討論会とはほど遠い。家族の勉強不足。全施連、各県連として対応を今後早急に考えるべき。
- 各々の実体験からの発言で現場の対応と合わせて、奥行きのある内容でとても良かったと思います。
- 参加型討論会において、理事長様のご家族の話聞いて感動しました。壇上の方々に同じ悩みがあることが今回の◎でした。
- もっと期待したが、新しい考えが聞けた訳でもなく、この討論の目玉がないと感じた。
- 参加型討論会がよい。
- 参加型討論会でもっと活発にするため、グループワークを行うとか各県からの意見をまとめて討論する等、もう少し工夫があれば良いと思った。

3. 全施連に望むことやご意見がありましたらお聞かせください。

- 根底にあるのは日本社会における人権の尊重がうすいせいだと思う。もっと人権が尊重され、一人一人の子どもたちが認められ、自尊感情が育つ学校教育や、保育がされて、それが当たり前となり、一般の大人に浸透すれば「社会は変わっていくと思う。一般社会に障害についての学習会が広くあればいい。
- 国への要望等の根拠を明確にしてほしい。
- 看護師、支援職員の採用を得るためには給与の加算が必要です。
- 時間的に無理かと思いますが、討論会はグループで（同じ会場の中でも）分かれることが出来たらもっと沢山のご意見が出てくるのでしょね。
- 今後も大会を継続していただけるよう希望します。
- 職員等の不足の問題が質・量の両面で深刻なことを痛感した。全施連にとしても、この問題に真剣に取り組んでほしい。
- この場でお話しを聞ける保護者はもちろんですが、情報がなく、悩んでおられる方たちがたくさんおられます。どうぞ広く情報発信してくださいますようお願いいたします。
- 全国に組織が拡大するような体制を作してほしい。意見や希望のわずかな違いは飲み込む広さがあって、各県に組織が確立してほしい。講演で事前に準備された資料を使ってほしい。地元に戻って報告するときに困る。
- 各立場（行政、施設管理者、職員、保護者）での意見をより取り入れてほしい。
- 全国に家族会の友人の数が回を重ねるたびに増えてきて、1年が楽しみでがんばれます。実行委員の方々おつかれさまでした。ありがとうございました！！
- 各施設への報告用に大会の開催テーマ冊子を余分に頂けたら幸いです。
- いつも同じメンバーの出番でなく、新人の会員（大会出席者として）の参加を増す手立てが必要では・・・。
- 今後とも、本大会が全国各地で開催される様にしてもらいたい。本大会について、直ちに全施連ニュースで全国に発信してもらい、参加できなかった家族との共有を図りたい。よろしくお願いします。
- 全国大会無事終わりました。ありがとうございました。
- 今後、家族会が行動しなければならない項目をあげて欲しい。行政、施設、家族等はわけて教えてほしい。
- 諸々の組織団体があってもよいが、秋田県の手をつなぐ育成会のあり方について、当連合会からも意見等を聞きたい。
- 親の高齢化に向けて、将来を考えています。
- 施設での後見制度が出来ることを切に望みます。親亡き後、みとりについて、これからもしっかり取り組んでいかなければならないと思いました。
- 毎回参加して大変有益でした。資料についてですが、代表で参加しているところ、参加できなかった方々に広く説明したく、一部くらい余分に提供頂きたいです。よろしく申し上げます。

- 会費等の問題も当然あるが、家族会等の参加を促していくべきだと感じた。
- 政界に意見が常に言える存在になり、改善につなげて欲しい。
- なかなか自分の施設の職員に対して言えないこと、聞けないことがあると思われま。職員も代表参加して、父母ご家族の想いを伝えるという大きな大会にしてみるのも良いかと思ひます。
- 障害を持つ親は亡くなってから、子どもの人生を深く考へているので、今後も色々と大会、研修を開催し、討論して頂きたいです。
- 強度行動障害支援、意思決定支援と国から政策の中に、次々で行うようにとのことですが、どれも中途半端になってしまひています。現状を働きかけてください。
- 全国の仲間がもっと多くなることを期待するとともに(全国47都道府県が連合体になるよう)障害のあるわが子や兄弟が生涯にわたり、安心して暮らせる社会になるようがんばりましよう。
- 開催県だけでも施設関係職員の参加を案内してはどうか。親より長い時間、子どもと接している当事者が少ないと、全施連の声が施設に届いているかが不安である。
- 厚生労働省の人は、毎年来てほしい。
- 自分の子供は通所施設に通うようになってまだ3年というところで、最近やっと施設でも落ち着き、そんなときにこの全国大会のお話があつたので、初めて参加させて頂きました。なので、自分も「全施連」という団体さんがどのような活動しているのか、そしてどのような成果をあげているのか、まだまだ無知なところがあります。今後は全施連さんの活動をもっと勉強してから、要望等を出していきたいと思ひます。
- これから勉強します。
- 高齢化対策について、もっと情報があればと思ひます。
- 事務局の方々、準備等ありがとうございました。お疲れ様でした。
- 今後老人介護制度への移行が懸念されますが、どのように取組まれますか？話の中で、措置時代、支援費制度、総合福祉支援法と変換してきていますが、障害者支援のあり方ほどのように差があるのでしょうか？全施連は今後どのように具体的な事柄を提案し、目に見える実績を出してくれるのでしょうか？
- 同じ状況の方々と一緒に会し、現状の問題、課題を共有できたことは大変良かったと思ひます。地元に戻り、今後の活動に役立てたい。
- 大会とは無関係であるが、もっと組織の拡大の取り組みが必要ではないか。約半分の都府県では、組織力としては弱体である。
- 家族会連合会を続けてもらいたい。話題提供者の事例をプロジェクターで行ってはどうでしょうか？
- これからも益々会員が増えて家族の悩み事等を話し、相談し合える仲間が増えることを望みます。
- 知的障害者の生活環境の改善、施設で働く方々の改善、家族が不安に思ふことの改善を国に働きかけることと思ひます。
- 施設利用者みなさんの生活の質の向上に頑張ってください。

- 今回初めての参加でしたが、とても良かったです。時には涙も出てしまったのもありました。「家族会」「親の会」を大切に、友が、知らない人たちが共有しながら進んでいけたらと思いを強くしました。子供のために・・・。
- 全施連が現在どういう課題に取り組み、どのような反応や取り組みを行っているかを各県連経由で伝わるように、もっとしてもらえると、各県の家族会の活動を活発化させるために使いたい。
- 各県の代表から、いろいろな問題提示がありました。事をつめると、いかに標準報酬を上げる。福祉業務に携わっても、生活してゆける希望、望みが少しでも若い世代（20代）に植えつけることができるのではないのでしょうか。
- パートⅡを早く完成させる努力をしてほしい。現実離れをした活動でなく、現状をしっかりと把握した上で活動をしていくべき。
- 「新しい施設のあり方」を追求しているのであっても、なかなか方向性を見出せないように思いました。
- 全国に47都道府県があって、今回の参加が26県ですから、年々減っているように思われますが、真の全国組織に向けた取り組み、減少の原因を探りながら対応されることを望みます。
- 全国大会の見直しはどうでしょうか。（形式、人数等）お祭りにするのか。研修の意味合いを強くするのか。規模（参加人数）はどうでしょうか。もっと少人数で深い話し合いをしたらどうでしょうか。
- まだ加盟していない県も再度声掛けし、組織拡大し、厚労省等に請願の後押しが必要と思われる。
- 全施連にお願いすることは、全国の利用者家族の生活はけっして良くありませんが、早く今の支援法をかえて、新しい法をつくってほしいです。
- 北から南までの会員がもっと情報交換を取り合うと、一本の流れを一緒に運動できるのではないのでしょうか。秋田県、役員の皆様、本当にご苦労様でした。大変でしたでしょう。
- 各県連のレベルの底上げ。全国大会は家族の不満を言う場ではない。全盲、各障害者団体の全国大会等々を勉強すべき、参加する意味不明。
- 時代とともに各々の当事者の受け取り方、対応は変わるとは思いますが、いづれにおいても以前（50年前）よりも、日々家族の一員としてスバラシク、良い時代になり、感謝でいっぱいでございます。
- 親が子を心配するのは何年たっても同じ。「終のみとり」知的障害も介護⇒医療にかかる訳で、国の介護保険の一本化も一人間として同等の扱いになる訳で、特別扱いは甘えではないのでしょうか。みんな65歳以上の老人ですから。
- 南さんが施設側の考えや、行政の今などをお話しますが、県の施保連合会でできていることなので、なんでここで話すのかな～という感じでした。全施連として、理想の施設像を具体的に話し合えたら良いと思います。24時間きれめのない・・・などというお題目ではなく・・・。